

さんらいふ



さんらいふ編集部
〒420-0853 静岡市葵区追手町7-1
TEL 054-251-7029
FAX 054-253-5734

総発行部数
302,000部

0351 ●〈三ヶ日〉丸倉新聞店 053(525)0239	●〈郡 城〉神保新聞店 053(926)2029	●〈氣 賀〉藤嶋新聞舗 053(522)0261	●〈金 商〉井嶋新聞店 053(542)0726
0104 ●〈舞 坂〉石塚新聞店 053(592)0459	●〈浜 松〉浜松エコー新聞センター 053(484)2600	●〈高 塚〉ニューセンター21st 053(447)0170	●〈浜松中央〉エガワ新聞堂 053(452)5952
5525 ●〈笠 井〉山崎新聞店 053(434)1232	●〈天福川〉小寺新聞店 053(421)0220	●〈浜 北〉浜北新聞センター 053(586)2878	●〈二 俣〉大角新聞店 0539(25)2246
0593 ●〈蒲 川〉蒲川新聞販売所 0539(67)2027	●〈磐 田〉大津新聞舗 0538(32)2464	●〈袋 井〉袋井新聞堂 0538(43)4000	●〈袋 井〉山田新聞店 0538(42)2347
6625 ●〈森 町〉秋山新聞店 0538(85)2252	●〈掛 川〉神谷新聞店 0537(22)5035	●〈菊 川〉山本新聞店 0537(35)2310	●〈小 笠〉松下新聞店 0537(36)4155
2141 ●〈浜 岡〉岡村新聞店 0537(86)2226	●〈大 東〉大東新聞センター 0537(72)5155	●〈横須賀〉横須賀新聞店 0537(48)4083	



愛用のハーモニカを手に「もっとハーモニカを身近に感じてください」と語る

奥深いハーモニカの魅力を多くの人に楽しんでもらいたい

山口牧さん(磐田市)

遠い昔、幼稚園や小学校で習ったハーモニカ。誰もが一度は吹いてみたことがあるだろう。さわつたことがなくても、郷愁を帯びたあの音色を知らない人はいないはず。

ハーモニカはいろいろな種類があり、奥が深い楽器だ。このハーモニカ演奏の世界一を決める「世界ハーモニカコンテスト」で、昨年、みごと入賞を果たした山口牧さんに、その魅力を聞いた。

(渡邊圭子)

趣味が高じてハーモニカ製造メーカーに就職

山口さんが本格的にハーモニカの練習を始めたのは、中学生の頃。二人の兄の影響もあり、ブルースなどちよつぱり大人の音楽を聴いていた。ブルースにハーモニカはつきもの。レコードを聴きながら独学で練習をした。

その後、一時期遠ざかっていたものの大学4年生のときに復活。ちょうど就職活動の真っ最中だった。

「鈴木楽器製作所の求人広告が目に入ったんです。調べてみるとハーモニカの製造に力を入れている楽器メーカーだと分かり、就職を決めました」

そして、ここから山口さんのハーモニカ一色の生活が始まった。

世界ハーモニカコンテストで入賞

会社では、入社以来ハーモニカの調律や組み立て、修理をはじめ、スズキハーモニカ振興会、管

業部ハーモニカ担当と一貫してハーモニカだけの仕事をしてきた。そして家に帰るとハーモニカの練習…。

その成果を試そうと、1988(昭和63)年に国内の大会であるF1Hジャパンハーモニカコンテストに出場。クロマチックハーモニカジャズ・ポップス部門で、堂々の1位を獲得した。その後も毎年のように入賞を続け、ついに昨年はドイツで行われるF1H世界ハーモニカコンテストに挑戦。みごと2部門で入賞という輝かしい結果を残し、大いに自信につながった。

魂の音を表現

「ハーモニカの良さは、何といっても手軽なことですね」

携帯電話より小さいサイズのものでも3オクターブの音域を持ち、表現力も他の楽器に劣らない。どこにでも持って行けて、気軽に演奏できる。フォ

ークやロック、ジャズ、カントリーなど広い分野の音楽に対応する……。そして、何より安価なのが大きな魅力だ。

「ハーモニカは声に近い。魂の音が表現できます。とかく教育楽器と思われがちですが、そればかりではありません。ハーモニカを多くの人にもっとよく知ってもらいたい。今後はいろいろな活動をしてい



昨年、ドイツで行われた「世界ハーモニカコンテスト」で演奏する山口さん

問い合わせ/鈴木製作所
営業部 ☎053(461)2325

※5月20日藤枝市のカフェ「PONY PONY」で、5月21日浜松市こども館で、山口さんの演奏とハーモニカの説明などを聞くことができる(21日は子供向けの内容)。